

企業紹介③

販売量が着実に増加

小田鉄工(兵庫県)

小田鉄工(加西市鴨谷町655-1、小田岳人社長)は建築鉄骨製作(35%)のほか、胴縁加工(25%)、橋梁仮設材の製作(30%)、金物類の塗装加工(10%)など多彩な加工を行い、鋼構造物製作の技術力には定評がある。大臣認定でMグレード認定を取得している。

内と同業ファブからの鉄骨製作依頼も増加し、月間加工量を200〜300ト確保。加工設備は切断機、ビームワーカー、アイアンワーカー、鋼板用の開先加工機、ショットブラスト機と天井クレーンも5基体制に増強し、販売量を着実に伸ばしている。図面関係ではドッドウエル B・M・SとシグマテックのCADを活用して、多様な母屋・胴縁への対応力を強化した。

小田社長は「当社は厚板以外に、アングルやチャンネルなど一般形鋼の加工にも対応できることが特徴の一つ。今後も付加価値の高い鋼構造物の加工に注力したい」と話す。

今期は物流倉庫、工場増築工事の受注が好調で、県

データファイル

- ▷創業 1996年12月
- ▷代表取締役 小田 岳人
- ▷従業員数 16人
- ▷本社・工場 兵庫県加西市鴨谷655-1
TEL 0790・44・0102、FAX 0790・44・0296
- ▷事業内容 鉄骨 胴縁、母屋の設計・製作 その他建築金物の加工
- ▷年間加工能力 2500〜3500ト
- ▷主要鋼材仕入先 協和スチール キンキスチール、大野物産
- ▷主な加工設備 NCビームワーカー150(2台)、形鋼孔あけ切断機3BC300(1台)、アイアンワーカー45III(1台)、NCビームワーカー(1台)、帯鋸盤1台、開先加工機(板)1台、形鋼孔あけ機1台、形鋼孔あけ切断機1台、ブラストマシン1台、ビームワーカー2台

企業紹介④

新本社・工場が稼働を開始

カナヤマ(富山県)

カナヤマ(本社・富山県黒部市天神新、星山守代表)は今年4月、本社・工場の移転新築が完了。社員一同の新工場への熱い思いに支えられ、スムーズに本格稼働を開始した。

旧工場の積年の問題を解決すべく生産ラインの一新、安全確保を見据えた二次加工スペースと製品ストックヤードの拡大を行い、工場・事務所の環境改善にも取り組んだ。8月には複合機を1ライン追加導入し、一次加工と二次加工のバランスを整えるとともに、二次加工の幅の拡充を視界にとらえるなど新工場計画当初の一定の目的を果たした。今後も職場環境の改善や設備の更新、品質の向上、コスト低減を推し進めていく。

星山代表は「高まる加工付加に対する生産性や技術の向上、業界や景気動向などへのフレキシブルな判断に加え、人手不足と働き方改革への対応が迫られている」とし、「お客様、業界のニーズと変化に柔軟に対応しながら業界全体に貢献するための活動にも微力ながら尽力したい」と考えだ。

新本社・工場が稼働を開始

データファイル

- ▷創業 1967年1月
- ▷代表取締役 星山 守
- ▷従業員数 77人
- ▷本社・工場 富山県黒部市天神新77-3
TEL 0765・33・5111、FAX 0765・33・5166
- ▷上越工場 新潟県上越市頸城区下吉77-7
TEL 025・531・1511、FAX 025・531・1510
- ▷事業内容 胴縁・母屋を中心とした鉄骨二次部材製作など
- ▷年間加工能力 約1万2000ト
- ▷主要鋼材仕入先 阪和興業、中山通商、中央鋼材、エムエム建材、アイ・テック、岡谷鋼機、本久、新金谷など
- ▷主な加工設備 C形鋼専用加工機3台、角パイプ専用加工機2台、複合機(角パイプ、チャンネル、H形鋼)4台、ビームワーカー6台、胴縁ソフト18台など

TNBグループ

鉄骨二次部材加工

胴縁加工のプロ集団

- 山形県: (株)メタルフロダクツ
- 新潟県: 柏陽鋼機(株)
- 群馬県: 番貞鋼材(株)
- 栃木県: (株)エヌ・エフ・シー
- 千葉県: 松山鋼材(株)
- 石川県: (株)ヤマト鉄工
- 福井県: (株)福岡
- 兵庫県: 小田鉄工(株)
- 岡山県: 太田工業(株)
- 香川県: (株)ヤマイチ
- 福岡県: (株)ファスコン九州
- 熊本県: (有)浜田製作所

胴縁加工のことなら、TNBグループメンバーにおまかせください!

TNBホームページ <http://tnb-japan.net/>

地球が笑顔。人と自然がほほ笑む企業を目指します。



- ・ どうぶち製作
 - ・ 金物製作
 - ・ お困りごと
- ご相談ください。

小田鉄工株式会社

兵庫県加西市鴨谷町655-1
TEL0790-44-0102 FAX0790-44-0296
<http://odatetu.web.fc2.com/index.html>